



しもあか

二輪草学びのエリア

(赤塚三中・赤塚小・赤塚新町小・紅梅小・下赤塚小)

令和6年 6月 28日

板橋区立下赤塚小学校

校長 菊池 宏一

学校便り NO. 4

ホームページ

<http://www.ita.ed.jp/edu/simoaes/>

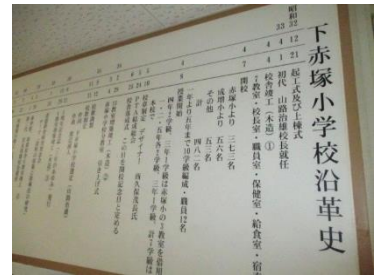
開校記念日

副校長 門馬 孝宏

6月25日(火)は、本校66年目の開校記念日でした。子どもたちの笑顔と成長を見守る日々は時が流れても変わることのない喜びであり、心より皆様にお祝い申し上げます。

職員室前の廊下の掲示板には「下赤塚小学校沿革史」があります。大人も子どもも見上げる場所にあります。また、校内や校庭には卒業記念や周年行事の際に作られた記念の作品が様々にあります。足を止めてじっくり見てみると、改めて、開校から今日までに多くの子どもたちがこの学び舎で過ごし巣立っていき、多くの教職員が情熱をもって教育に携わり、多くの保護者の皆様と地域の皆様の支援と信頼をいただいていたことが分かります。

先日、代表委員の子どもたちが下赤塚小学校開校記念日集会を開き、クイズ形式(動画)で学校の歴史について発表してくれました。問題は5問ありました。



- 第1問 下赤塚小学校の校章のモデルとなった植物は何でしょうか。①ひまわり ②たちばな ③さくら
- 第2問 下赤塚小学校が始まったのはいつからでしょうか。①昭和33年 ②昭和43年 ③昭和53年
- 第3問 開校時、赤塚小学校と成増小学校から本校に転入する子たちは何をお土産にもらったのでしょうか。
①おまんじゅう ②サッカーボール ③ドッジボール
- 第4問 初めは校庭に朝礼台がありませんでした。始業式で校長先生はどのように話されたでしょうか。
①クロームブックを使ってオンラインで話された。 ②稲荷神社の石垣の上から話された。
③朝礼台なしで叫ばれた。
- 第5問 初めの校舎では教室が足りませんでした。子どもたちはどのように授業を受けていたでしょうか。
①校庭にテントを張った。 ②赤塚小学校の教室を借りた。 ③イスや机を小さくした。

※解答は、ぜひ、お子様と確認していただけたらと思います。第3問目が難しく、私は不正解でした。

集会当日、各教室では子どもたちから歓声が上がり、楽しみながら下赤塚小学校の歴史を知り、学校の一員としての繋がりを感じることができました。保護者の皆様の中には、本校を卒業した方もいらっしゃると思います。ぜひ、ご自身が小学生であった当時の様子についてご家庭で話題にいただけたらと思います。皆様と培ってきた下赤塚小学校のこれまでの歩みはかけがえのないものであります。私たち教員も誇りと感謝の気持ちをいつまでも忘れず、指導に励んでまいります。

さて、いよいよ1学期のまとめの時期となり、間もなく、子どもたちが心待ちにしている夏休みをむかえます。この夏休みは、学校で学習した経験を活かしながら家庭生活を自律的に過ごし、また、試すよき機会でもあります。学期末、学校では、4月からの新学年での学校生活で学習したことを振り返り、自分に身に付いたことは何か、さらに努力すべきことは何かを自覚できるように指導してまいります。各学年の保護者会でも、長い夏休みをどのように過ごすのか、楽しく充実したものとなりますよう様々にお話させていただきます。地域の皆様にもご協力をいただきながら、子どもたちの健康や安全の確保に努めてまいりたいと思います。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。そして、2学期には成長した子どもたちに会えることを楽しみにしております。

7月の予定

※SC・・・スクールカウンセラー

日	月	火	水	木	金	土
	1 朝会 安全指導	2 読書 SC相談日	3 委員会 ics 委員会	4 読書 アスリート派遣授業 (6年)	5 読書 読書週間終 保護者会	6
7	8	9 NIEタイム SC相談日 午前授業 (全学年)	10 出前授業 (4年) たちばな面談始	11	12 NIEタイム 集会	13
14	15 海の日	16 NIEタイム SC相談日 たちばな指導終	17 クラブ	18 給食終 避難訓練 (一斉下校)	19 S時程 終業式	20
21	22 水泳指導	23 補習教室	24 水泳指導	25 水泳教室	26 水泳教室	27
28	29 水泳教室	30 水泳教室	31 補習教室			

※予定は変更される場合があります。ご了承ください。

熱中症にご注意

熱中症は、暑さや湿気、水分不足などの環境要因が原因で起こる症状です。学校では、子どもたちの健康を第一に考えており、暑さ指数（WBGT）が30℃を超えた時点で、休み時間の外遊びをはじめ、全ての運動や屋外活動は取りやめにしています。十分な水分補給や適切な休憩を心がけ、健康に過ごせますようご家庭でもご指導をお願いいたします。

メールシステム登録のご確認を

板橋区にはメールシステム（SumaMachi）があります。お子様一人ずつ（在籍する学年・学級ごと）の登録が必要になり、学校や区からのお知らせが配信されます。夏休み中も、緊急時や必要に応じて大事なお知らせがある場合もあります。ご確認いただき、まだ登録されていない方は早めに登録をお願いいたします。

夏季休業中の受付時間と学校閉庁日について

7月20日（土）～8月31日（土）は夏季休業になります。学校の受付時間は平日8：15～16：45となります。平日は日直の教員が勤務しております。電話等のお問い合わせは受付時間内をお願いいたします。それ以外の時間は、留守番電話に切り替わります。なお、8月13日（火）～8月16日（金）は学校閉庁日になり、日直の勤務もありません。緊急の場合は、板橋区役所（代表）電話03-3964-1111にご連絡をお願いいたします。

～東京都教育委員会 令和6年度 体育健康教育推進校 先生方の研修をご紹介します～

2年 研究授業 生活科「ぐんぐんそだて わたしの野さい

～とどけ！2年生のソウルフード～」 2年1組



2年1組担任の 〇〇先生です。5月24日（金）に食育をテーマにした研究授業を行いました。生活科の「ぐんぐんそだて わたしの野さい～とどけ！2年生のソウルフード～」では、自分で選んだ野菜を栽培する活動を通して、野菜の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、野菜が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、栽培や収穫の喜びを味わい、野菜への親しみを深めたり、大切にしたりすることができるようにすることを目標に学習を進めていきました。

まず、自分の育てたい野菜を選びました。選ぶ際に児童の中には「この野菜好きじゃない。」「食べたくないな。」などのつぶやきが聞こえました。給食でも野菜が苦手な児童が少なからずいます。しかし、実際に野菜の苗が届き自分の鉢に野菜の苗を植え始めると、毎日見たり水やりをしたり自分の野菜



に対しての愛着を感じている様子が見られるようになりました。そこで、私達の食育分科会では、「すすんでよりよい食生活を目指す子」に近づくために、「自分達の育てた野菜が学校給食に使われ全校児童に食べてもらったら、育てた喜びに加え、食べてもらえる喜び、さらに苦手だけど食べてみようかなという意欲につなげていけるのではないか。」と考えました。



研究授業当日は、〇〇先生 学校栄養職員と連携して「もっともっと大きくおいしくするためには」というめあてに向かって、自分の野菜の成長した様子や困っている様子などを丁寧に観察しました。その後、野菜やアサガオなどの栽培の経験や図書を使って調べたことなどから、これからどんな世話をしていったらよいのかみんなで考えました。たくさんの先生方に囲まれながら児童は一生懸命に観察したり考えたりすることができました。

授業以外にも、赤塚植物園での農業体験や 〇〇先生 学校栄養職員と連携した授業「やさいのパワーをしよう」など、栽培と食育を同時に取り組み計画を立てて進めています。学校の畑や花壇で育てている夏野菜へも関心を寄せて、世話をする児童が出てきました。そこで収穫できた野菜を使って7月に給食の献立に入れてもらう予定です。

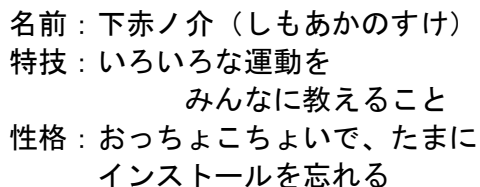


2年生の廊下の前が給食室という好条件のもと、この授業だけではなく、年間を通して食育に取り組んでいきたいと思います。授業を終えてから、児童が給食室の窓をのぞく姿が増えたことを嬉しく思います。

授業の冒頭では、男子走り高跳びの世界記録の動画を視聴しました。キューバのハビエル・ソトマイヨールさんが1993年に跳んだときの映像で、跳び越したバーの高さはなんと2m45cm。動画を見た児童からは「すごい!」、「自分もチャレンジしてみたい!」という声が上がりました。

-
- 着地 空中 踏み切り 助走
- ① レッス
② ゴー
③ ジャンプ
- ひざを膝くまげると足の裏から安全に着地
- かた足でとぶ
ゴムに近い足から振り上げる

「今日の授業は、特別ゲストをお招きしました。早速登場してもらいましょう！」



颯爽と登場したのは、体育のプロフェッショナルの「下赤ノ介」。みんなに跳び方のお手本を見せてくれるはずが……、動きをインストールすることを忘れてまさかの大失敗！ 4年3組のみんなで動きをインストールしてあげることになりました。①助走は3歩で。②ゴムに近い方の足を振り上げ

下赤ノ介から学んだことを生かして、グループで「レッツ・ゴー・ジャンプ！」と声を掛け合いながら高跳びに挑戦しました。何度も挑戦する中で、「跳べた！」、「できた！」という声とともに安全に気を付けながら、跳ぶことを楽しむ児童の姿が見られました。